

## アドバイザー・プロフィール



右) 中川 貴照 (なかがわ たかてる)  
アントレプレナーシップデザインセンター 教育研究アドバイザー  
・株式会社ディーパ 代表 (東京)  
・株式会社WAbility 代表 (和歌山)

左) 和歌山県印南町で令和5年に起業した卒業生

写真: 新宿駅ルミネで和歌山マルシェを開催した様子です。

出身: 大阪府柏原市。和歌山大学経済学部、卒。マーケティング専攻。

### 【学生時代】

和歌山大学前駅が無い時代の3回生12月から就活スタート(マスコミ志望)。4回生の6月には、志望していたメディア業界・広告業界の進路先が全滅。目先を変え就活再スタート。秋に、当時新進気鋭のユニコーン企業に内定。卒論「ルマ」8万字に四苦八苦しつつも何とか卒業した。

ちなみに、卒論のタイトルは「逆襲の商店街」。実家の喫茶店や地元商店街が、さびれていったため。

### 【社会人】

東京へ。超ブラックな会社(今は無い)。2年目、役員に新会社設立のため毎週火曜にプレゼン。提案数は50事業以上。半年後、社内起業へ。(部門内初の会社設立。)ゼロからの会社設立を体験。部下3人を持つ営業マネージャーとして(当時、24歳)。仕事依頼は多数ありニーズが高いことを実感するが、1年後には累計3000万円の赤字で事業は失敗(吸収合併される)。

その後、大手広告代理店へ派遣される。NTTドコモ4000店舗の集客・販促・ブランディングの担当。携帯電話iモード全盛期。サッカー日韓ワールドカップなど巨大プロジェクトのプロモーションも経験。年間あたり3億円以上のプロジェクトを任せられ、24時間365日の対応で超激務な業務を経験した。ちなみに、部門は年間200億円以上の予算で様々なプロジェクトが同時多発的に進行している。ほぼ毎日、終電後のタクシー帰り。iPhoneの登場でiモード事業に翳り。派遣元会社を買収により消滅。

フリーランス転向。3人で動画制作集団立ち上げ(企画担当)まだyoutubeが無かったことやクリエイター脱退のため解散にいたる。リーマンショックで業務が一時的に停滞。徐々に復活するも、2011年、東北大震災が起こる。長期の業務停滞を想定し直ちに帰阪。同時期に、両耳感音性難聴のため障がい者となる。和歌山大学広報プロジェクト「学生広報 PRism」の企画を提出、運営開始。地元八尾エリアで、キッズルームの生産加工会社と知り合い事業拡大のため法人化を決意し、再び上京。

Dipah社を設立。リアル店舗の集客装置としてのキッズルームが認知され、事業は拡大。東京オリンピック開催にあわせ商業施設や公共施設にもキッズルーム開設が増加しR1年、最高益となる。欧州3週間の視察を慣行。知人のいるドイツとのネットワークによりドイツのアプリ会社と日本販売契約を締結。R2年1月、さらなる事業拡大を見越し年間100万円のコンサルタント契約を実施するも、翌2月、コロナ禍で事業停止。売上90%ダウン。契約したコンサルが機能不全におちいる。

和歌山大学の特任職員となる。ピジコンの企画・運営・勉強会の開催やアントレプレナーシップデザインセンターの設立準備などに携わる。同じころ、和歌山県に事業計画書を提出し「わかやま地域課題解決型補助金」の獲得のためのプレゼンを実施。事業採択され、地域課題の解決のための共創商社を創設。

2社目を設立(R4年) WAKAYAMAのAbilityを底上げするため(株)WAbilityを創業。和歌山と首都圏をヒトとモノとでつなぐ2拠点事業を展開中。今後は、ローカルtoローカルとして、和歌山と他府県をつなぐ事業を展開準備中。試験的にアルテリーヴォ和歌山と共創事業を展開し、サッカーの試合に来る他府県のファンと地元とをつなぐプロジェクトを実施中です。

毎週の木曜日の勉強会を通じて、みなさんと一緒に何かできると嬉しいです♪